



全国から150名が国会請願

5月15日、衆議院第一議員会館に全国から150名の代表が国会請願に参加しました。東海ブロックからは愛知4名、静岡5名、岐阜1名、三重1名の代表が参加。北海道からは102歳の菱谷良一さんが参加され、治安維持法が悪法であったこと。政府がそれを認めないことへの怒りを力強く訴えられました。

その後、東海ブロックの代表は、3組に分かれ署名を携え、衆参の議員事務所

を訪問し、紹介議員になっていただくよう要請。最後に東海ブロック選出の本村のぶ子衆議院議員の事務所



No.226

2024年6月15日

発行者：治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟

愛知県本部

461-0004 名古屋市

東区葵1-22-26

愛知民主会館内

Tel: 090-9175-9598

Fax: 0564-20-9108

メール:

qdcso14344

@yahoo.co.jp

私たちの運動の基本

に集まりました。本村衆議院議員は、大変忙しいなかを私たちと懇談し快く署名を受け取ってくださいました。

- ふたたび戦争と暗黒政治を許さないために
- 一、治安維持法体制の復活に反対する
- 一、国は戦前の治安維持法が人道に反する悪法であったことを認めること
- 一、国は治安維持法の犠牲者に謝罪と補償をおこなうこと



生活図画事件の菱谷さん（右）と松本さん（左・故人）



■県同盟の現勢

6月1日 759名

【入会者】

一宮支部 1名

【退会者】

ありませんでした。

生活図画事件犠牲者お二人の手記より

前頁で紹介した菱谷良一さんと松本五郎（故人）が弾圧された生活図画事件についてお二人の手記を掲載します。

生活図画事件と私

菱谷良一

昭和16年9月20日の朝、私は寄宿舎より特高刑事によつて拘引された。その時は先に検挙された熊田先生に伴って参考人として出頭するものと軽く考えていたが、翌日より特高の訊問に接し、それは甘い考えである事を思い知った。

冒頭、共産主義を信じ、そして実践したという子供を恫喝と滑稽な言辞で調書のでっち上げ捺印させられました。左翼小説に登

場する人物、または国家権力に対し果敢にも抵抗し、信念をもつてたたかい倒れた先人ならともかく、共産主義なるものも口々に知らず、また何らの不法運動にも携わった訳でもないのに、突然逮捕され、遮二無二れっきとした主義者に仕立て上げられたのである。

その後は彼の指示する方向、読書のすすめもレコード鑑賞もすべて実践運動としての実践であるという調書が出来上がり遂に起訴されたものである。

真冬の氷点下30度を超す厳寒の独房で手足の凍傷に苦しみ、また夏は文を書くことも読書も叶わず、死ぬほどの無聯をかこった一年三ヵ月。88年の人生にとつ

ては短い時日であるが、平凡で善良な市民が国家権力によつて白を黒につくり変える法の鎖でしばりつけ、肉体も精神も苛酷な境涯におとしめ、或いは死にも到らしめる悪法が存在したということとは誠に空恐ろしいことである。

今日、一見平和で享樂と飽食の世代のように見えるが、戦前のあの忌まわしい世の中に逆戻りさせかねない空気が「ナント力法」「カント力法」と頭をのぞかせている。あの時代には絶対逆戻りさせてはならない。もう古い先短い。かつての事件の体験者の一人として声を大にしてこう訴えるものである。

生活図画事件

にかかわつて

松本五郎

私は、大正9年鳥取市に生まれ、北海道開拓を志した父に伴われ昭和2年根室原野に入植した。小学校高等科を卒業し、昭和11年旭川師範に入学した。この年は二・二六事件がおき、軍部の政治介入が顕著となった。北海道では陸軍特別大演習が行われこの時学校に行幸がきまった。校舎内外の清掃、展示品の製作展覧、体操の練習等、休日返上で行われた。校地内に神社が建てられ、出征兵士の武運長久と祈願したり慰問文を書くなど戦時色が濃くなり、批判的言動が許されぬ時代になった。

当時、美術の熊田満佐吾先生は生徒の自主性を尊重し、生活をみつめてよりよい生き方を考えさせ、それが絵画表現にならなければならぬと主張されていた。

またよりよく生きるためには豊かな教養を身につける事が必要だと力説された。

私は美術部に入って自由に語り、学ぶ事の喜びを知った。ルネッサンス研究会、紙芝居研究会、レコードコンサート等進んで参加した。これらの事が後に国策批判で国体変革につながる行為として治安維持法により検挙されるとは夢にも思わなかった。

昭和16年1月、冬休みが終わって登校した私は、熊田先生の検挙を知った。軍都の旭川で、しかも師範学校の思想事件である。大きな衝撃であつたに違いない。美術部もそれに関係する生徒が学校で取り調べられた。一人は不敬の言動で退学、五名が教練科目が零点なので留年となった。卒業を待っていた父母に申し訳なかつ

たが、もう一年行かせてほしいと頼んだ。

隠忍の学校生活も半ばをすぎた九月二〇日、早朝特高警察に寄宿舎から拘引された。事情聴取が終わればすぐ帰されると思ったのは間違いであつた。旭川警察署につくとすぐ留置場に入ると命ぜられ、厚い扉で施錠された中の人となった。巨大な権力を思い知らされた。臭い飯、鼠のいる薄汚れた布団、薄暗く狭い部屋、気が狂いそうになる。早く調べてほしいと思うが様子がわからない。どうにでもなれと叫びたくなつた。

半月位たつた或る日、やつと呼び出された。ロイド眼鏡をかけたいかつい男が、「熊田や菱谷は調べた。貴様も共産主義を信奉し啓蒙していただろう」と、「私は信奉していません」と言つ

た途端「何！ 貴様は警察をなめる気か」まさに鉄拳がとんできそうな形相の恫喝、「正直に認めれば早く帰してやる」との懐柔。もうお膳立ては出来ていと観念し拇印をおさざるを得なかつた。（以下略）



愛知解放運動戦士の碑

愛知合葬追悼会が6月2日日進市五色園で開催されました。1992年10月18日、完成除幕式で行われた川村富左吉建立委員会事務局長の挨拶と碑の建立に至る経過報告を掲載します。

「愛知解放運動戦士の碑」建立委員会」は1991年9月、日本国民救援会

愛知県本部、愛知いしずえ会、治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟愛知県本部、愛知旧友会、日本共産党愛知県委員会の五団体により、国民救援会愛知県本部の安藤巖会長を建立委員長として発足しました。建立委員会では、碑の名称を「愛知解放運動戦士の碑」とすることを確認し、目的を、わが国の社会進歩と発展、平和、民主主義、くらしを守る事業の途上で、志なかばにして亡くなられた方々の中で、愛知にゆかりのある方々をたたえ偲び、その遺志を継いでたたかうことを誓い合うこと、と定めました。

：碑の正面に刻まれた「不屈の闘士ここに眠る」の揮毫は日本共産党の宮本顕治氏、背面の「碑誌」の揮毫は大須事件元被告団長の芝

野一三氏に要講し、それぞれころよく筆をとっていただきました。

：この愛知の碑に本日合葬される方々は、1948年の第1回から本年1992年度の第45回までの間に東京青山の「無名戦士墓」に合葬されました愛知にゆかりある515名の方々に加え、これまでの合葬にもれていた方や、その後に物故された方、42名を加えて、合計575名の方々であります。

：名簿について少し立ち入って申し上げますと、戦前の治安維持法下の弾圧で岩田義道氏が虐殺されたことは歴史上著明ですが、ほかに20代、30代で拷問死あるいは獄死させられた方々の経歴が散見されます。1985年になって新たに、治安維持法下で獄死させら

れていたことが判明した犠牲者も合葬者の列に加えられるています。これらを見る時、戦前の暗黒政治の苛酷さ理不尽さに新たな怒りがわくとともに、まさに、不屈であった先輩の戦士たちに深く思いをいたし、自衛隊海外派兵が強行されている現情勢の中、暗黒の歴史を繰り返させてはならぬ亡の決意もひとときわ熱くわいてまいります。

：「愛知解放運動戦士の碑」維持管理要綱」を定め、建立委員会を「維持管理委員会」へと発展させてその仕事にあたることを確認しました。

この後、川村さんは鶴舞公園にある「愛知社会運動顕彰碑」（いしずえの碑）に触れて発言していますが、次号に掲載いたします。



66名の視聴 知多支部が映画鑑賞会

知多支部は6月2日アイプラザ半田で「米軍が最も恐れた男カメジロー不屈の生涯」の鑑賞会を開催しました。当日の参加者の感想を掲載します。

○良かった。最後の言葉が感動的だった。○声をあげれば、政治が変わる。この

ことをしっかりと学んできたい。○不屈のたたかい。青年の頃「沖繩を返せ」と事ある毎に歌った頃を思い出しました。○瀬長亀次郎の不屈の人生、身に沁みました。素晴らしい映画をありがとうございました。○不屈に自分の信念をつらぬいた生き方に感銘しました。私も一歩ずつがんばってきたい。○こういう場で、初めて沖繩のことを知った。○沖繩を平和な島にしたい。○カメジローも治安維持法犠牲者であったこと知りました。米軍占領の本質をとらへ、沖繩、県民の苦しみをわかりやすく演説で訴え続けた(国会での佐藤首相との論戦カメジロー)。いま・戦争する国づくりを進めている自公政権、今立ち上がって変えよう、日本を！